

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	勝山地区 (猪野口集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	24.61 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	24.30 ha
② 田の面積	24.59 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.02 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・(農)いのくちファームが引き受けている農地がほとんどであるが、高齢化にともなう新たな担い手の確保が課題となっている。
・地域の活性化を図るための、景観作物の導入。 ・条件の良くない圃場の、維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・水稻、ソバ、麦を主要作物とし、栽培方法を確立する。
・条件の良くない農地の維持が困難であれば、果樹を含めた他の作物を検討する。
・草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。草刈機の購入、小型農機の導入、水はけを良くする。
・先進地事例などから、地域の活性化について検討する。
・農事組合法人、認定農業者を中心に、若手農業者の育成を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で農地バンクへの貸付けを進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	97.1 %	将来の目標とする集積率	97.2 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場の再整備と水路等の維持管理が今後の課題。補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外の多様な経営体と手を組んで、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)いのくちファーム	水稻・大麦・ソバ	23.6 ha	ha	水稻・大麦・ソバ	23.6 ha	ha	灰	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		23.6 ha	0 ha		23.6 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	勝山地区 (若猪野集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	31.03 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	29.00 ha
② 田の面積	30.27 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.76 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・担い手の高齢化にともない、新たな受け手の確保が必要。 ・条件の良くない圃場の、維持管理。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・水稻を主要作物とし、園芸作物の栽培も持続する。 ・草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。 ・農事組合法人、認定農業者を中心に、若手農業者の育成を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で農地バンクへの貸付けを進める。また、条件の良くない圃場の、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	51.4 %	将来の目標とする集積率	51.5 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(株)かつやまアグリ倶楽部	水稻、麦、ソバ	11.2 ha	ha	水稻、麦、ソバ	11.2 ha	ha	黒(赤線)	
認農	大西 光榮	水稻、麦、ソバ	1.2 ha	ha	水稻、麦、ソバ	1.2 ha	ha	緑	
認農	中村 茂	水稻、麦、ソバ等	1 ha	ha	水稻、麦、ソバ	1 ha	ha	黒	
認農	長谷川 悟	水稻、麦、ソバ	1.5 ha	ha	水稻、麦、ソバ	1.5 ha	ha	黄(赤線)	
認農	長谷川 晶俊	水稻、麦、ソバ	0 ha	ha	水稻、麦、ソバ	0 ha	ha		
認農	いのくちファーム	水稻、麦、ソバ	0 ha	ha	水稻、麦、ソバ	0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		14.9 ha	0 ha		14.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	勝山地区 (高島集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	11.32 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	11.31 ha
② 田の面積	11.15 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.17 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に営農組織、認定農業者に集約している。 ・営農組織の構成員や認定農業者の高齢化と後継者不足。 ・用途区域内は、補助事業を活用した整備ができない。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・未整備の圃場の、より良いあり方の検討。 ・用途区域内農地への補助もしくは用途区域からの除外を要望していく。 ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で、集約を進める。また、条件の良くない圃場の、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	12.4	%	将来の目標とする集積率
			12.5
			%
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
用途区域からの除外や補助事業の活用など、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	伊藤 宗一郎	水稲、麦、ソバ	0.9 ha	ha	水稲、麦、ソバ	0.9 ha	ha	橙	
利用者	高島ファーム	水稲、麦、ソバ	4.5 ha	ha	水稲、麦、ソバ	4.5 ha	ha		
認農	綾かつやまアグリ倶楽部	水稲、麦、ソバ	0.5 ha	ha	水稲、麦、ソバ	0.5 ha	ha	桃	
認農	(農)岡横江ファーム	水稲、麦、ソバ	0 ha	ha	水稲、麦、ソバ	0 ha	ha		
認農	(農)いのくちファーム	水稲、麦、ソバ	0 ha	ha	水稲、麦、ソバ	0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		5.9 ha	0 ha		5.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	勝山地区 (猪野集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	7.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	7.6 ha
② 田の面積	7.6 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・ 農業者の高齢化、後継者不足にともない新たな農地の受け手の確保が必要。 ・ 地域活性化のための新たな作物の導入。 ・ 若手農業者の育成、環境整備。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・ 水稻、ソバ、麦を主要作物とし、露地野菜、果樹等の栽培方法を確立する。 ・ 農地の維持が困難であれば、他の作物を検討する。 ・ 草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。 ・ 若手農業者の研修の場の提供など、集落の活性化を図る。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で、集約を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	71.0 %	将来の目標とする集積率	71.1 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場の再整備と水路等の維持管理が今後の課題。補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)岡横江ファーム	水稻、麦、ソバ	2.9 ha	ha	水稻、麦、ソバ	2.9 ha	ha	赤	
認農	(株)かつやまアグリ倶楽部	水稻、麦、ソバ	0.7 ha	ha	水稻、麦、ソバ	0.7 ha	ha	茶	
認農	伊藤 宗一郎	水稻、麦、ソバ	1 ha	ha	水稻、麦、ソバ	1 ha	ha	青緑	
利用者	乾 一朗	水稻	0 ha	ha	水稻	0 ha	ha		
認農	片岸 史治	水稻、麦、ソバ	0.8 ha	ha	水稻、麦、ソバ	0.8 ha	ha	白(緑線)	
認農	長谷川 晶俊	水稻、麦、ソバ	0 ha	ha	水稻、麦、ソバ	0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		5.4 ha	0 ha		5.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	勝山地区 (片瀬集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	23.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	23.9 ha
② 田の面積	23.9 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に(農)かたせに集約している。 ・営農組織の構成員や農業者の高齢化と後継者不足。 ・条件の良くない圃場の維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農および農地の保全。農事組合法人の維持と継続。 ・草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。 ・営農困難農地の水稻以外の作付けの検討。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で、集約を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	97.1	%	将来の目標とする集積率
			97.2 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(農)かたせ	水稲、麦、ソバ	23.2 ha	ha	水稲、麦、ソバ	23.2 ha	ha	赤	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		23.2 ha	0 ha		23.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	勝山地区 (畔川集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	8.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	0.0 ha
② 田の面積	7.3 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	1.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
＊畔川区は用途区域内にあり、したがって農用地は存在しない。	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・ 農業者の高齢化にともない、新たな受け手の確保が必要。 ・ 条件の良くない圃場の、維持管理。 ・ 用途区域内の農地は区画が未整備のため、耕作放棄地が増加している。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・ 未整備の圃場の、より良いあり方の検討。 ・ 用途区域内農地への補助もしくは用途区域からの除外を要望していく。 ・ 草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で、集約を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
用途区域からの除外や補助事業の活用など、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託 面積	経営作物等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
利用者	石黒 啓造	水稻、野菜、ソバ	0.8 ha	ha	水稻、野菜、ソバ	0.8 ha	ha	緑	
認農	久保 一郎	水稻	2.9 ha	ha	水稻	2.9 ha	ha	黄	
利用者	久保 浩治	水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.8 ha	ha	ベージュ	
利用者	久保 信次	水稻、野菜	0.4 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	紫	
利用者	久保 隆幸	水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	白	
利用者	斎藤 聡	水稻	1.3 ha	ha	水稻	1.3 ha	ha	水色	
利用者	斎藤 文美雄	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	茶	
利用者	中野 榮	水稻	2.8 ha	ha	野菜	2.8 ha	ha	赤	
利用者	松浦 龍夫	水稻、野菜	0.2 ha	ha	水稻、野菜	0.2 ha	ha	青	
			ha	ha		ha	ha		
計	9経営体		9.8 ha	0 ha		9.8 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (岡横江集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	23.12 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	22.52 ha
② 田の面積	23.10 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.02 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考) 区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落内農地について全て集積済み。猪野地区から農振地域の集積依頼があり随時集積。現在、35歳の若手構成員を育成中。 ・高齢化や後継者不足が大きな課題となっている。新たな受け手の確保が必要。 ・地域活性化のための新たな作物の導入。環境に対応した有機農業の検討。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・農事組合法人を中心に水稻、ソバ、麦を主要作物とし、露地野菜、果樹等の栽培方法を確立する。 ・水稻に依存せずに国家戦略作物、地域特産物の栽培に移行してゆく。水稻については、緑肥を活用し経費の削減を実施する（減肥料） ・草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。 ・農事組合法人を中心に集落内での取り組みを軸とするが、今後、広域での取り組みも検討。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・担い手に支障のない範囲で、農地バンクへの貸付けを進める。また、国、県、市、JA等との連携を密にし、補助事業等の活用を検討していく。 ・水稻の栽培において、夏場の猛暑に備え、水利を考慮し作付けをする。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	96.4 %	将来の目標とする集積率	96.5 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
農地バンクを通じて、担い手を中心に集積・集約を進め、団地面積の拡大を目指す。若手構成員の育成。将来的に若手構成員が中心になって行うようサポートしていく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。近隣地区より依頼があった場合は、中間管理機構を活用する。
(3) 基盤整備事業への取組
基盤整備は終了しているが、水路等の維持管理が今後の課題。担い手が営農しやすい生産環境を整備し、自己保全管理農地等への作付けを進める。部分的な用排水路補修(農地水・長寿化利用)を行う。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。水稻及び転作(そば、大麦)、露地園芸、施設園芸の各責任者を配置し、活動できる組織づくりを行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組
麦後そばの収穫作業を、片岸史治氏に委託。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				
②緑肥を利用し、観光地周辺の景観、水稻の減肥料に努める。				
⑧法人所有の倉庫がない為(借家)法人所有の倉庫取得。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和1年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)岡横江ファーム	水稻、麦、ソバ等	21.7 ha	ha	水稻、麦、ソバ等	21.7 ha	ha	黄	
利用者	小林 誠	水稻、麦、ソバ等	0.5 ha	ha	水稻、麦、ソバ等	0.5 ha	ha	茶	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	2経営体		22.2 ha	0 ha		22.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (平泉寺集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	97.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	97.6 ha
② 田の面積	96.4 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	1.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	18.6 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.7 ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	48.8 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	29.6 ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・認定農業者等が引き受ける意向のある農地よりも、後継者不在の農地の方が多い。新たな受け手の確保が必要。
・地域の活性化を図るため、新たな作物の導入や有機農業への取組が課題。
・林地周辺や急傾斜地にある農地の、維持管理が課題。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・水稻、ソバ、麦を主要作物とし、露地野菜、果樹等の栽培方法を確立する。
・営農が困難な農地について、水稻以外の作付けを検討する。
・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	35.2 %	将来の目標とする集積率	35.3 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場が小さい(1,000㎡)ため作業効率が悪い。補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	片岸 史治	水稲・麦・ソバ	26.7 ha	24.2 ha	水稲・麦・ソバ	26.7 ha	24.2 ha	緑(黒線)	
到達	牧野 雅夫	水稲・麦・ソバ	5.4 ha	ha	水稲・麦・ソバ	5.4 ha	ha	緑青	
利用者	乾 一郎	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha	橙	
利用者	鈴木 勝	水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	紫	
利用者	辻 総八郎	水稲	1.6 ha	ha	水稲	1.6 ha	ha	あずき	
利用者	小林 誠	水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha	青紫	
利用者	林 博史	水稲	1.5 ha	ha	水稲	1.5 ha	ha	カーキ	
認就	井村 繁樹	花卉	0.4 ha	ha	花卉	0.4 ha	ha	薄桃(青線)	
認就	滝本 和子	水稲	1.9 ha	ha	水稲	1.9 ha	ha	灰(灰線)	
利用者	松井 誠一	水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.4 ha	ha	灰桃	
利用者	平林 龍治	水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	- ha	ベージュ	
計	11経営体		43.1 ha	24.2 ha		43.1 ha	24.2 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (赤尾集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	38.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	38.1 ha
② 田の面積	38.0 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に、集落の農事組合法人（農楽の郷あかお）に集約している。 ・農事組合法人構成員の高齢化と後継者不足。 ・林地周辺や急傾斜地にある農地の維持管理。 ・相続放棄地の維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農および農地の保全。農事組合法人の維持。 ・営農が困難な農地について、水稻以外の作付けを検討する。 ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	70.1 %	将来の目標とする集積率	70.2 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
用水路等の改修を要望する。補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)農楽の郷あかお	水稻・麦・蕎麦	26.7 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	26.7 ha	ha	赤	
利用者	千京 修一	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	水色	
利用者	千京 正夫	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	くすみ緑	
利用者	手塚 藤浩	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	暗い水色	
利用者	手塚 雪子	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	緑	
利用者	杼木 勘次	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	紫	
利用者	栃木 雅章	水稻	0.09 ha	ha	水稻	0.09 ha	ha	黄緑	
利用者	堂山 信一	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	桃	
利用者	中村 秀継	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	くすみ桃	
利用者	福田 耕太郎	水稻	0.05 ha	ha	水稻	0.05 ha	ha	濃い緑	
利用者	福田 敏幸	水稻	0.02 ha	ha	水稻	0.02 ha	ha	ベージュ	
利用者	松田 数実	水稻	1.5 ha	ha	水稻	1.5 ha	ha	黄	
利用者	松田 秀和	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	灰	
計	13経営体		32.86 ha	0 ha		32.86 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (笹尾集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	15.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	15.1 ha
② 田の面積	15.2 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落の営農組織（笹尾共同営農組合）に集約している。 ・農業者の高齢化と後継者不足。 ・草刈りや獣害への対策が困難。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

草刈り等の作業応援のしくみ作り。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】 電気柵の追加設置				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	北山 修一	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	青	
利用者	北山 真太郎	野菜	0.9 ha	ha	野菜	0.9 ha	ha	黄緑	
利用者	塚本 たまえ	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	緑	
利用者	手塚 秀一	水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	黄	
利用者	手塚 須恵子	水稻	1.8 ha	ha	水稻	1.8 ha	ha	水色	
利用者	手塚 豊治	水稻	1.8 ha	ha	水稻	1.8 ha	ha	紫	
利用者	手塚 幹夫	水稻、野菜	2 ha	ha	水稻、野菜	2 ha	ha	赤	
利用者	中村 隆篤	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	橙	
利用者	福田 義一	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	白	
利用者	棟友 正昭	水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	灰	
利用者	山形 俊樹	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	灰	
利用者	山本 清勝	水稻	1 ha	ha	水稻	1 ha	ha	緑(赤線)	
計	12経営体		13.7 ha	0 ha		13.7 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (大渡集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	30.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	29.7 ha
② 田の面積	30.9 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に、集落の農事組合法人（ふれあい大渡）が、農地を集約して営農を行っている。 ・農事組合法人の構成員の高齢化と、後継者の育成が課題となっている。 ・獣害防止対策として電気柵の設置をしているが、近年、猿の被害も発生している。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・農事組合法人を今後も維持し、補助事業を活用した営農および農地の保全を行う。 ・水稻・大麦・そば等の作付けをしており、今後も、不耕作地を作らない営農を継続する。 ・畦畔等が大きく草刈作業等が大変であるので、草刈作業等の応援の仕組みを検討する。 ・農作業の効率化を図るため、スマート農業の活用を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地の集約に当たっては、中間管理機構を通じた貸借を行っている。今後も継続するとともに、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	99.0 %	将来の目標とする集積率	99.1 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体への集約を継続する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手が営農する農地のほとんどは、農地中間管理機構を活用して、集積・集約をしており、今後も継続する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手が営農する農地のほとんどは、農地中間管理機構を活用して、集積・集約をしており、今後も継続する。また、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等とも調整する。
(3) 基盤整備事業への取組
集落のほとんどの農地で基盤整備事業を完了している。今後も、必要に応じて補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外の経営体と連携して取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
そばの刈取を委託しており、今後も継続する。また、農作業の効率化を図るため、他の農作業についても検討する。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				
・電気柵の設置を今後も継続するとともに、サル被害等の対策を検討する。				
・農作業の効率化のため、スマート農業の活用を検討する。				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)ふれあい大渡	水稻、麦、ソバ等	29.3 ha	ha	水稻、麦、ソバ等	29.3 ha	ha	赤	
認就	福岡 順子	水稻、菊等	0.1 ha	ha	水稻、菊等	0.1 ha	ha	橙	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	2経営体		29.4 ha	0 ha		29.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	平泉寺地区オペレータ会	ソバの刈取作業	ソバ
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (壁倉集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	10.39 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	10.39 ha
② 田の面積	10.34 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.05 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落外の認定農業者に集約している。 ・集落内の農業者の高齢化と後継者不足。 ・草刈りや獣害への対策が困難。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・林地周辺や急傾斜にある農地の、より良いあり方の検討。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。 ・近隣の認定農業者や農事組合法人へ、担ってくれるよう、相談しながら依頼していく。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稲以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	36.6 %	将来の目標とする集積率	36.7 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	片岸 史治	水稻・麦・ソバ	3.8 ha	ha	水稻・麦・ソバ	3.8 ha	ha	赤	
利用者	永井 仁美	水稻、野菜	0.3 ha	ha	水稻、野菜	0.3 ha	ha	黄	
利用者	中村 昭子	水稻、野菜	0.8 ha	ha	水稻、野菜	0.8 ha	ha	青	
利用者	福田 光平	水稻、野菜	0.4 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	橙	
利用者	福田 歳博	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	灰	
利用者	福田 英夫	水稻、野菜	0.4 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	桃	
利用者	山田 幸子	水稻、野菜	0.3 ha	ha	水稻、野菜	0.3 ha	ha	紺	
利用者	山田 清治	水稻、野菜	0.4 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	茶	
利用者	山田 せつ子	水稻、ソバ、野菜	1.7 ha	ha	水稻、ソバ、他	1.7 ha	ha	黄緑	
利用者	山田 利男	水稻、野菜	0.5 ha	ha	水稻、野菜	0.5 ha	ha	黒	
利用者	山田 久	水稻、ソバ、野菜	0.6 ha	ha	水稻、ソバ、他	0.6 ha	ha	緑	
利用者	山田 善吉	ネギ	0.2 ha	ha	ネギ	0.2 ha	ha	紺	
計	12経営体		9.6 ha	0 ha		9.6 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (岩ヶ野集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	26.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	26.1 ha
② 田の面積	25.9 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に、集落の農事組合法人（アグリいわがの）に集約している。 ・農事組合法人構成員および農業者の、高齢化と後継者不足。 ・法面の草刈りが困難。獣害。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農および農地の保全。農事組合法人の維持。 ・営農が困難な農地について、水稻以外の作付けを検討する。 ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	83.9 %	将来の目標とする集積率	84.0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)アグリいわがの	水稻、飼料用米	21.9 ha	ha	水稻、飼料用米	21.9 ha	ha	赤	
利用者	田名部 利雄	水稻	1.5 ha	ha	水稻	1.5 ha	ha	緑	
利用者	永井 基治	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	紫	
利用者	南 都志男	水稻	1 ha	ha	水稻	1 ha	ha	黄緑	
利用者	松丸生産組合(大野市)	水稻	0 ha	ha	水稻	0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		24.7 ha	0 ha		24.7 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (大矢谷集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	21.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	20.9 ha
② 田の面積	21.2 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・大矢谷生産組合を中心として、集約している。 ・山間の田であるため、法面が大きく、草刈りが相当に困難。水稻は機械化により高齢でも可能だが、草刈りは高齢ではできない。 ・農業者の高齢化と後継者不足。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

草刈りについて、補助事業を活用した体力的にも経済的にもより負担の少ない方策を検討する。補助事業の活用と要望について検討する。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
草刈りの負担が軽減されるよう、方策を検討する。補助事業を活用する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	9.6 %	将来の目標とする集積率	9.7 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手が受けやすいよう、草刈りの負担が軽減されるよう、取り組んでいく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称) 個人はアイウエオ順	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	大矢谷生産組合	水稻、ソバ	8.6 ha	ha	水稻、ソバ	8.6 ha	ha	赤	
利用者	谷口 恵二	水稻	1.5 ha	ha	水稻	1.5 ha	ha	黄	
利用者	永井 基治	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	桃	
利用者	永井 さよ子	水稻	0 ha	ha	水稻	0 ha	ha	水色(青線)	
利用者	永井 六充	水稻	2.2 ha	ha	水稻	2.2 ha	ha	水色	
利用者	山内 一榮	水稻	5.2 ha	ha	水稻	5.2 ha	ha	青	
利用者	永井 仁美	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	橙	
認農	(株)スコイ勝山ファーム	水稻	2 ha	ha	水稻	2 ha	ha	紫(赤線)	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		20.5 ha	0 ha		20.5 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (小矢谷集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	23.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	8.2 ha
② 田の面積	10.5 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考） 採草放牧地：13.2ha（採草放牧地は目標地図での表記なし、集積率は田畑のみで算出）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・主に、集落の認定農業者に集約している。
- ・認定農業者の高齢化と後継者不足。
- ・法面が大きく、草刈りが相当に困難。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・補助事業を活用した営農および農地の保全。
- ・草刈りの負担が軽減されるよう、方策を検討する。補助事業を活用する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	64.6 %	将来の目標とする集積率	64.7 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
< 田畑 >									
認農	山本 健治	水稻、ソバ、麦	4.4 ha	ha	水稻、ソバ、麦	4.4 ha	ha	青	
認農	松本 忠司	水稻、飼料作物	0.9 ha	ha	水稻、飼料作物	0.9 ha	ha	黄	
利用者	歸山 きみ子	水稻、ソバ	1.4 ha	ha	水稻、ソバ	1.4 ha	ha	枯緑	
利用者	中村 信義	水稻、野菜	1.4 ha	ha	水稻、野菜	1.4 ha	ha	赤	
利用者	中山 茂治	水稻	1.3 ha	ha	水稻	1.3 ha	ha	紫	
利用者	向嶋 寛治	水稻、野菜	0.5 ha	ha	水稻、野菜	0.5 ha	ha	桃	
< 採草放牧地 >									
認農	松本 忠司	酪農、飼料作物	6.6 ha	ha	酪農、飼料作物	6.6 ha	ha		
認農	(合同)南牧場	酪農、飼料作物	6.2 ha	ha	酪農、飼料作物	6.2 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		22.7 ha	0 ha		22.7 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	平泉寺地区 (経塚集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	4.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	4.7 ha
② 田の面積	4.6 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落外の農事組合法人に集約している。 ・農業者の高齢化と後継者不足。 ・草刈りや獣害への対策が困難。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・林地周辺や急傾斜にある農地の、水稻以外の作物を検討。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。 ・近隣の認定農業者や農事組合法人へ、担ってくれるよう、相談しながら依頼していく。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	23.4 %	将来の目標とする集積率	23.5 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(農)ふれあい大渡	水稲・麦・ソバ	1.1 ha	ha	水稲・麦・ソバ	1.1 ha	ha	赤	
利用者	櫻井 崇博	水稲・麦・ソバ	0.7 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.7 ha	ha	橙	
利用者	中村 昭一	水稲・麦・ソバ	0.7 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.7 ha	ha	紫	
利用者	藪 修	水稲・麦・ソバ	0.4 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.4 ha	ha	青	
計	4経営体		2.9 ha	0 ha		2.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	村岡地区 (滝波集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	15.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14.7 ha
② 田の面積	15.0 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落外の認定農業者および農事組合法人に集約している。 ・集落内農業者の高齢化と後継者不足。 ・用途区域で圃場が整備されていないため、引き受け手がない。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・未整備の圃場の、より良いあり方の検討。 ・用途区域内農地への補助もしくは用途区域からの除外を要望していく。 ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	63.9 %	将来の目標とする集積率	64.0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	北川 新太郎	水稻・麦・ソバ	5.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	5.2 ha	ha	赤	
認農	酒井 勝	水稻・麦・ソバ	4.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	4.2 ha	ha	青	
利用者	笠川 剛士	水稻	0 ha	ha	水稻	0 ha	ha		
利用者	多田 耕一	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	紫	
利用者	中村 正孝	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	黒	
利用者	梨木 猛	水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	濃紫	
利用者	梨木 忠夫	水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	黄緑	
利用者	藤澤 孝一郎	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	紫	
利用者	藤澤 眞三志	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	黄土	
利用者	山田 喜蔵	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	水色	
計	10経営体		10.2 ha	0 ha		10.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	村岡地区 (郡集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	13.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	13.1 ha
② 田の面積	13.5 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落内の認定農業者および集落外の農事組合法人に集約している。 ・認定農業者および農業者の、高齢化と後継者不足。 ・用途区域で圃場が整備されていないため、引き受け手がない。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・未整備の圃場の、より良いあり方の検討。 ・用途区域内農地への補助もしくは用途区域からの除外を要望していく。 ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	51.1 %	将来の目標とする集積率	51.2 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	北川 新太郎	水稲・麦・ソバ	6.5 ha	ha	水稲・麦・ソバ	6.5 ha	ha	橙	
利用者	今井 昭一郎	水稲・麦・ソバ	0.8 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.8 ha	ha	緑	
利用者	定友 花子	水稲・麦・ソバ	0.7 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.7 ha	ha	水色	
利用者	但川 隆治	水稲・麦・ソバ	0.1 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.1 ha	ha	茶	
利用者	廣瀬 廣一	水稲・麦・ソバ	0.07 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.07 ha	ha	深緑	
利用者	山田 喜蔵	水稲・麦・ソバ	0.9 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.9 ha	ha	紫	
利用者	和田 與一郎	水稲・麦・ソバ	0.6 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.6 ha	ha	赤	
認農	(農)えちぜんかぶと	水稲・麦・ソバ	0.2 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.2 ha	ha	青(赤線)	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		9.87 ha	0 ha		9.87 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	村岡地区 (五本寺集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	9.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	9.9 ha
② 田の面積	9.7 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・集落外の、認定農業者や農事組合法人および営農組織に集約している。
- ・集落内農業者の、高齢化と後継者不足。
- ・草刈りや水管理、獣害対策が困難。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・近隣の認定農業者や農事組合法人へ、担ってくれるよう、相談しながら依頼していく。
- ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。
- ・補助事業を活用した営農、農地の保全。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	36.3 %	将来の目標とする集積率	36.4 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託 面積	経営作物等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(農)えちぜんかぶと	水稻・麦・ソバ	0.5 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.5 ha	ha	赤	
認農	北川 新太郎	水稻・麦・ソバ	2.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	2.2 ha	ha	橙	
認農	酒井 勝	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	青	
利用者	黒原営農生産組合	水稻・麦	0.4 ha	ha	水稻・麦	0.4 ha	ha	緑	
利用者	中村 正博	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	青紫	
利用者	中村 衛	水稻	1.9 ha	ha	水稻	1.9 ha	ha	水色	
利用者	山田 喜蔵	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	紫	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	7経営体		6.8 ha	0 ha		6.8 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	村岡地区 (黒原集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	21.22 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	20.90 ha
② 田の面積	21.20 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.02 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落内外の認定農業者および集落の営農組織（黒原営農生産組合）に集約している。 ・勝山市採種組合で種もみを作っている。 ・認定農業者および営農組織構成員の、高齢化と後継者不足。 ・草刈りや水管理、獣害対策が困難。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・認定農業者および黒原営農生産組合を中心経営体として、維持。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。 ・補助事業を活用した営農および農地の保全。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稲以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	24.9 %	将来の目標とする集積率	25.0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	酒井 勝	水稻・麦・ソバ	5 ha	ha	水稻・麦・ソバ	5 ha	ha	濃緑	
認農	北川 新太郎	水稻・麦・ソバ	0.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.2 ha	ha	濃青	
利用者	黒原営農生産組合	水稻・麦	5.8 ha	ha	水稻・麦	5.8 ha	ha	黄	
利用者	池田 修	水稻・野菜	1 ha	ha	水稻・野菜	1 ha	ha	濃紫	
利用者	池田 西弘	水稻・野菜	0.9 ha	ha	水稻・野菜	0.9 ha	ha	紫	
利用者	池田 義則	水稻・野菜	0.4 ha	ha	水稻・野菜	0.4 ha	ha	薄紫	
利用者	石田 忍	水稻・野菜	0.3 ha	ha	水稻・野菜	0.3 ha	ha	緑	
利用者	中村 衛	水稻・野菜	0.4 ha	ha	水稻・野菜	0.4 ha	ha	水色	
利用者	花田 正則	水稻・野菜	1 ha	ha	水稻・野菜	1 ha	ha	濃水色	
利用者	花田 明治	水稻・野菜	0.4 ha	ha	水稻・野菜	0.4 ha	ha	薄水色	
利用者	前川 英樹	水稻・野菜	0.9 ha	ha	水稻・野菜	0.9 ha	ha	薄桃	
利用者	前田 茂信	水稻・野菜	0.4 ha	ha	水稻・野菜	0.4 ha	ha	灰	
利用者	前田 壽夫	水稻・野菜	0.6 ha	ha	水稻・野菜	0.6 ha	ha	肌色	
利用者	前田 二藏	水稻・野菜	0.8 ha	ha	水稻・野菜	0.8 ha	ha	橙	
計	14経営体		18.1 ha	0 ha		18.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	村岡地区 (栃神谷集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	12.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	10.1 ha
② 田の面積	12.8 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・集落外の認定農業者に集約している。
- ・農業者の高齢化と後継者不足。
- ・林地周辺の農地の維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・近隣の認定農業者や農事組合法人へ、担ってくれるよう、相談しながら依頼していく。
- ・補助事業を活用した営農、農地の保全。
- ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稲以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	21.8 %	将来の目標とする集積率	21.9 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	北川 新太郎	水稲・麦・ソバ	2.2 ha	ha	水稲・麦・ソバ	2.2 ha	ha	赤	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		2.2 ha	0 ha		2.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	村岡地区 (寺尾・暮見集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	35.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	34.9 ha
② 田の面積	35.7 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落の農事組合法人（エコファームてらお）及び集落内外の認定農業者に集約している。 ・農事組合法人の構成員および認定農業者の、高齢化と後継者不足。 ・林地周辺の農地の維持管理。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農、農地の保全。農事組合法人の維持。 ・営農困難農地について、水稻以外の作付けを検討する。 ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	97.7 %	将来の目標とする集積率	97.8 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(農)エコファームてらお	水稲・麦・ソバ	34.1 ha	ha	水稲・麦・ソバ	34.1 ha	ha	青	
利用者	澤村 真司	メロン他、ハウス	0.39 ha	ha	メロン他、ハウス	0.39 ha	ha	橙	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	2経営体		34.49 ha	0 ha		34.49 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	村岡地区 (浄土寺集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	14.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14.2 ha
② 田の面積	14.4 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落内に用途区域内と用途区域外が混在しており、集落内の営農組織（浄土寺営農組合）および集落外の農事組合法人に集約している。 ・用途区域内の農地は区画が未整備のため、耕作放棄地が増加している。 ・小規模農家が多い。農業者の高齢化と後継者不足。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・未整備の圃場の、より良いあり方の検討。 ・用途区域内農地への補助もしくは用途区域からの除外を要望していく。 ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	浄土寺営農組合	水稲・野菜	5.7 ha	ha	水稲・野菜	5.7 ha	ha	黄	
利用者	梅原 一男	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	青	
利用者	小林 雄仁	野菜	0 ha	ha	野菜	0 ha	ha		
利用者	田中 治衛	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	緑	
利用者	田中 正則	野菜	0.09 ha	ha	野菜	0.09 ha	ha	灰	
利用者	中村 仁治	水稲・野菜	0.07 ha	ha	水稲・野菜	0.07 ha	ha	薄緑	
利用者	野淵 和真	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	紫	
利用者	秦 邦夫	野菜	0.4 ha	ha	野菜	0.4 ha	ha	薄紫	
利用者	本多 秀正	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	あずき	
利用者	前野 茂	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha	桃	
利用者	水谷 みどり	野菜	0.03 ha	ha	野菜	0.03 ha	ha	濃桃	
利用者	山口 清	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha	水色	
利用者	和田 徳一	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	薄水色	
利用者	市民農園	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	濃紫	
計	14経営体		9.29 ha	0 ha		9.29 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	北谷地区 (北六呂師集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	3.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	3.6 ha
② 田の面積	3.8 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・自家で消費する米の生産が主なので、集約が難しい。 ・生産者の高齢化と後継者不足。 ・元来の水量不足と水路や畦の老朽化による水確保の難しさ。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農の追求。 ・高齢者でも栽培可能な植物の育成による農地保全の取り組み。 ・雑草対策での省力化の追求。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
米の生産しか考えてこなかった農地に他の作物の栽培を考えることは甚だ難しく、自家消費米生産地以外はできるだけ少ない労力ですむ植物の栽培や、観賞用の植物の育成、そして補助事業なども活用して農地保全に務める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
用水路等の改修を要望する。補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	大林 義則	水稻・粟	0.3 ha	ha	水稻・粟	0.3 ha	ha	黄	
利用者	小林 健一	水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	橙	
利用者	小林 宏治	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	黄緑	
利用者	田畑 祐治	水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	紫	
利用者	結川 隆一	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	紺	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		2.1 ha	0 ha		2.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	野向地区 (龍谷集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	62.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	62.4 ha
② 田の面積	62.4 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・ほとんどの農地を農事組合法人、認定農業者が引き受けている。 ・高齢化と後継者不足。 ・林地周辺や急傾斜地の農地の維持管理。 ・今後、山際など離農せざるを得ない圃場が増える。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・林地周辺の農地について、より良い管理のあり方や活用を検討。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稲以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標
現状の集積率93.4 % 将来の目標とする集積率93.5 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
基盤整備は終了しているが、水路等の維持管理が課題。担い手が営農しやすい生産環境を整備し、自己保全管理農地への作付けを進める。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 （氏名・名称）	現状			10年後 （目標年度：令和16年度）				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)龍谷営農組合	水稻・麦・ソバ	43.9 ha	ha	水稻・麦・ソバ	43.9 ha	ha	赤	
認農	出口 一郎	水稻・麦・ソバ	11.5 ha	ha	水稻・麦・ソバ	11.5 ha	ha	青	
認農	岩岡 久	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	緑	
到達	山田 保	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	黄緑	
利用者	竹内 康弘	水稻・麦・ソバ、野菜	1.4 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.4 ha	ha	濃紫	
認農	(株)多田農園	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	黄	
認農	(農)えちぜんかぶと	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	7経営体		59.7 ha	0 ha		59.7 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	野向地区 (竹林集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	13.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	13.5 ha
② 田の面積	13.6 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・圃場の昇降路が狭く、くずれやすく、危険である。
- ・給排水の施設が古い。また、給水口が高い位置にあり、水位の低い時は水が来ない。給水口の引き下げが必要。
- ・畔が古く、また、草刈りが困難。1枚を1ha程度の田に改良して、側はコンクリートにできないか。
- ・圃場に水が湧き出てくる。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・地区で農地を守っていくという意識の醸成。
- ・補助事業を活用した畦畔の整備。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	67.4 %	将来の目標とする集積率	100 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
地区全体で、竹林地区の農地を守っていく			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
水路等の維持管理が課題。補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	内田 東市	水稻・麦・ソバ	9.1 ha	ha	水稻・麦・ソバ	9.1 ha	ha	赤	
利用者	吉元 禎	水稻・野菜	0.9 ha	ha	水稻・野菜	0.9 ha	ha	桃	
利用者	前田 浩文	水稻・麦・ソバ・野菜	2.1 ha	ha	水稻・麦・ソバ・野菜	2.1 ha	ha	水色	
利用者	南部 泰隆	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	紫	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		12.3 ha	0 ha		12.3 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	野向地区 (聖丸集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	26.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	26.7 ha
② 田の面積	26.7 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・後継者不在の農地が多く、新たな受け手の確保が必要。
- ・林地周辺や急傾斜地の農地の維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・維持管理が困難な農地について、水稻以外の作付を検討。
- ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。
- ・集落営農組織の立ち上げを目標に、関係機関との情報交換を行っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	69.3 %	将来の目標とする集積率	69.4 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場が小さい(1,000㎡未満)ため作業効率が悪い。補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備し、自己保全管理農地への作付けを進める。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から多様な経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	石橋 政光	水稻・麦・ソバ・野菜	9.7 ha	ha	水稻・麦・ソバ・野菜	9.7 ha	ha	橙	
到達	辻 健治	水稻・麦・ソバ・野菜	6.9 ha	ha	水稻・麦・ソバ・野菜	6.9 ha	ha	青	
認農	出口 一郎	水稻・麦・ソバ	1.5 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.5 ha	ha	赤	
利用者	木下 庄一	水稻・野菜	1.3 ha	ha	水稻・野菜	1.3 ha	ha	黄緑	
利用者	久保 元邦	水稻	2 ha	ha	水稻	2 ha	ha	桃	
利用者	西出 健一	水稻・野菜	1 ha	ha	水稻・野菜	1 ha	ha	緑	
利用者	西出 信夫	水稻・野菜	0.02 ha	ha	水稻・野菜	0.02 ha	ha	黄	
利用者	幅田 正徳	水稻・野菜	0.6 ha	ha	水稻・野菜	0.6 ha	ha	紫	
利用者	夢田 周平	水稻・野菜	0.3 ha	ha	水稻・野菜	0.3 ha	ha	カーキ	
利用者	夢田 光男	菊・野菜	0.1 ha	ha	菊・野菜	0.1 ha	ha	灰	
利用者	竹内 康弘	水稻・ソバ	0.7 ha	ha	水稻・ソバ	0.7 ha	ha	水色	
認農	(農)ファーム別所	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	ページュ	
計	12経営体		24.52 ha	0 ha		24.52 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	野向地区 (深谷集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	30.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	30.7 ha
② 田の面積	30.7 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・高齡化と後継者不足。 ・土手が多く、草刈りが困難。 ・地権者が耕作をしないので担い手は大変。法人化したい。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・野向地区で一つの営農組織とすることの検討。 ・補助事業を活用した営農。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稲以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	5.2 %	将来の目標とする集積率	5.3 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
土手の草刈りが大きな負担。補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
到達	椿山 喜継	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	黄	
利用者	深谷営農組合	水稻・麦・ソバ	16.5 ha	ha	水稻・麦・ソバ	16.5 ha	ha	緑	
利用者	大西 一男	水稻	1.7 ha	ha	水稻	1.7 ha	ha	橙	
利用者	片山 喜代史	水稻・野菜	1.6 ha	ha	水稻・野菜	1.6 ha	ha	薄水色	
利用者	知土 光	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	黄緑	
利用者	中村 啓一	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	濃橙	
利用者	橋爪 康夫	水稻	1 ha	ha	水稻	1 ha	ha	薄桃	
利用者	橋爪 隆市	水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	灰	
利用者	長谷川 幸蔵	水稻	1 ha	ha	水稻	1 ha	ha	桃	
利用者	森本 雅夫	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	水色	
利用者	山内 則人	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	灰(赤線)	
認農	石橋 政光	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha		
計	12経営体		27.2 ha	0 ha		27.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	野向地区 (薬師神谷集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	20.11 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	19.83 ha
② 田の面積	20.08 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.03 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・生産組合があるが高齢化が進み維持管理が困難であり、オペレーターの確保が課題。 ・サル、イノシシ、シカなどの獣害対策、畦や法面の草刈りが大変。 ・米価が低く儲からないので、利用権設定の年貢が負担になっている。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・高齢化や後継者がいない農家は薬師神谷生産組合に農地を委託する。 ・周辺地区とエリアで農業法人を作り、住民全員で農地保全に努める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・担い手への集積・集約を進める。 ・草刈り、水管理、獣害対策等の維持管理について、新たな方策を検討する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地バンクを通じて集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
近隣地区と合同で、農事組合法人を設立できないか検討していく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	薬師神谷生産組合	水稻、麦、ソバ、野菜	11 ha	ha	水稻、麦、ソバ、野菜	11 ha	ha	黄	
利用者	石塚 善榮	水稻、野菜	0.4 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	青	
利用者	石塚 康雄	水稻、野菜	1.2 ha	ha	水稻、野菜	1.2 ha	ha	桃	
利用者	梅田 一	水稻	1.4 ha	ha	水稻	1.4 ha	ha	紺	
利用者	高田 信一郎	水稻、野菜	0.5 ha	ha	水稻、野菜	0.5 ha	ha	黄緑	
利用者	高田 仁吉	水稻、野菜	1 ha	ha	水稻、野菜	1 ha	ha	水色	
利用者	宮塚 榮藏	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	緑	
利用者	山内 俊洋	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	薄青	
利用者	山内 則人	水稻、野菜	0.9 ha	ha	水稻、野菜	0.9 ha	ha	赤	
利用者	嶋田 喜代一	水稻	0.02 ha	ha	水稻	0.02 ha	ha	茶	
計	10経営体		17.42 ha	0 ha		17.42 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	野向地区 (牛ヶ谷集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	6.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6.3 ha
② 田の面積	6.3 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・農業者の高齢化により、維持管理が困難。 ・法面が大きく草刈りが大変である。 ・常時牛ヶ谷に住んでいる人は少なく、ほとんどは市街地等に住み、後継者がいない。 ・サル、イノシシ、シカなどの獣害が増えており、対策が大変。農機具の購入費用が高く、更新できない。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・担い手へ継続した耕作の依頼を行う。 ・他地区法人への集約の依頼の検討する。 ・稲作ではなく、園芸作物を生産して儲かる農業を目指していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・担い手への集積・集約を進める。 ・草刈り、水管理等の維持管理について、新たな方策を検討する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地利用最適化推進委員および農家組合長等と調整して、農地バンクを通じて集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な経営体を募り、定着するよう取り組んでゆく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	村上 新一	水稻、野菜	0.4 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	赤	
利用者	高尾 茂樹	水稻、ソバ	1.3 ha	ha	水稻、ソバ	1.3 ha	ha	小豆	
利用者	清水 修	水稻、野菜	0.4 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	肌色	
利用者	久保 主計	水稻、野菜	0.2 ha	ha	水稻、野菜	0.2 ha	ha	紫	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		2.3 ha	0 ha		2.3 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	野向地区 (北野津又集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	41.40 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	40.70 ha
② 田の面積	41.30 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.10 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・農地のほぼ100%を（農）えちぜんかぶとに集約済み。 ・現状維持のために、全員参加を条件として（農）えちぜんかぶとを立ち上げた。 ・（農）えちぜんかぶとの後継者不足。 ・草刈り、鳥獣害対策が困難。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・防除作業でのスマート農業は効率的ではあるが、防除効果に課題がある。 ・将来の後継者不足対応として、隣接する集落の法人との統合を検討する。 ・エコ栽培を基本とし、特別栽培米の継続栽培と補助事業を活用した営農の展開。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・担い手及び鳥獣害対策を講じ、耕作放棄地の発生防止に努める。 ・栽培生産条件の悪い圃場や用排水の改善に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	99.2 %	将来の目標とする集積率	99.3 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
(農) えちぜんかぶとへ100%集約化している現状を維持する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
(農) えちぜんかぶとの経営健全化を図り、現状の取り組みを維持する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
安心して農地の貸し借りができるよう、農地中間管理機構との連携を密にする。
(3) 基盤整備事業への取組
土手の草刈り、鳥獣害対策が大きな負担。補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
若年層への農業生産活動に対する理解を深めるための研修会等の開催や、高齢者が経営に参加可能な共同作業を取り入れ、持続可能な法人経営に取り組む。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の实情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)えちぜんかぶと	水稻・麦・ソバ	40.4 ha	ha	水稻・麦・ソバ	40.4 ha	ha	赤	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		40.4 ha	0 ha		40.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (松田集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	19.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	19.4 ha
② 田の面積	19.4 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・主に、集落の農事組合法人（松田ファーム）に集約している。
- ・農事組合法人構成員の高齢化と後継者不足。
- ・条件の悪い圃場の維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・補助事業を活用した営農、農地の保全。農事組合法人の維持。
- ・条件の悪い圃場について、より良い管理のあり方や活用の検討。
- ・草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稲以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	93.8 %	将来の目標とする集積率	93.9 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業を活用し、水路等の維持管理など、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の实情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)松田ファーム	水稻・麦・ソバ・野菜	18.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ・野菜	18.2 ha	ha	青	
利用者	丸山 正彦	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	灰	
認農	(株)エアル	果実的野菜	0 ha	ha	果実的野菜	0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	3経営体		18.6 ha	0 ha		18.6 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (田名部集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	6.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6.4 ha
② 田の面積	6.4 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落の農地に、持続的に水が来ないことが大きな課題。4集落で用水を使用しているが、毎年水が来ない。毎年、上の集落にお願いに行っている。
・高齢化と後継者不足。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

集落の農地に持続的に水が来るよう、近隣集落や行政も含めた、より良いあり方の検討。補助事業を活用した、水管理の整備。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
集落の農地に持続的に水が来るよう、水管理について、方策を検討する。補助事業を活用する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手が受けやすいよう、集落の農地に持続的に水が来るよう、取り組んでいく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、布市・田名部営農組合を地域の中心経営体として集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでゆく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 （氏名・名称）	現状			10年後 （目標年度：令和 16 年度）				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	布市・田名部営農組合	水稻・麦・そば	2.7 ha	ha	水稻・麦・そば	2.7 ha	ha	黄緑	
利用者	丹後 清明	水稻・麦・そば	0.5 ha	ha	水稻・麦・そば	0.5 ha	ha	紫	
利用者	丹後 長兵衛	水稻・麦・そば	1.6 ha	ha	水稻・麦・そば	1.6 ha	ha	黄	
利用者	丹後 俊夫	水稻・麦・そば	0.2 ha	ha	水稻・麦・そば	0.2 ha	ha	緑	
利用者	矢戸 清	水稻・麦・そば	0.5 ha	ha	水稻・麦・そば	0.5 ha	ha	水色	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		5.5 ha	0 ha		5.5 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (布市集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	26.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	26.7 ha
② 田の面積	26.8 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に認定農業者に集約している。 ・農業者の高齢化と後継者不足。 ・草刈りや水管理が困難。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・継続的な水の確保。水管理のより良いあり方の検討。補助事業を活用した水管理の整備。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稲以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	41.9	%	将来の目標とする集積率
	42.0	%	
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業を活用し、水路等の維持管理など、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	木下 嘉隆	水稻・麦・ソバ	8.7 ha	ha	水稻・麦・ソバ	8.7 ha	ha	赤	
認農	内田 東市	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	灰	
認農	酒井 勝	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	水色	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	3経営体		11.2 ha	0 ha		11.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (清水島集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	33.6 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	33.4 h a
② 田の面積	33.6 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	h a
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	h a

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・主に、認定農業者と集落営農組織（ファーム清水島）に集約している。
- ・農業者の高齢化と後継者不足。
- ・草刈りが困難。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・水管理のより良いあり方の検討。補助事業を活用した水管理の整備。
- ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稲以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	31.7 %	将来の目標とする集積率	31.8 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業を活用し、水路等の維持管理など、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	木下 嘉隆	水稻・麦・ソバ	6.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	6.6 ha	ha	緑	
認農	土田 弥嗣	水稻・野菜	3.1 ha	ha	水稻・野菜	3.1 ha	ha	赤	
利用者	木下 嘉信	水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	黄	
利用者	小林 辰己	水稻・麦・ソバ	1.3 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.3 ha	ha	くすみ緑	
利用者	南部 英二	水稻・野菜	3.9 ha	ha	水稻・野菜	3.9 ha	ha	黒	
利用者	水田 伸一	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	灰桃	
利用者	ファーム清水島	水稻・麦・ソバ	6.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	6.2 ha	ha	青	
認農	岩岡 久	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	青緑	
認農	内田 東市	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha		
				ha			ha		
計	9経営体		24.7 ha	0 ha		24.7 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (新在家集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	22.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	22.0 ha
② 田の面積	22.0 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・主に、認定農業者と集落営農組織（しんざいけ農園）に集約している。
- ・認定農業者や農業従事者の高齢化と後継者不足。
- ・条件の悪い圃場の維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・維持管理が困難な農地について、水稻以外の作付を検討する。
- ・草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。
- ・補助事業を活用した営農、農地の保全。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	29.1 %	将来の目標とする集積率	29.2 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	本多 範行	水稻・麦・ソバ	6.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	6.2 ha	ha	紫	
利用者	しんざいけ農園	水稻・麦・ソバ	2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	2 ha	ha	赤	
認農	(農)ファーム別所	水稻・麦・ソバ	0.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.2 ha	ha	くすみ桃	
利用者	石川 健治	水稻	1.8 ha	ha	水稻	1.8 ha	ha	黄	
利用者	木下 喜一	水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	橙	
利用者	小林 實	水稻	1 ha	ha	水稻	1 ha	ha	青	
利用者	坂上 信雄	水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	あずき	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	7経営体		13.4 ha	0 ha		13.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (別所集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	40.49 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	40.40 h a
② 田の面積	40.46 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.03 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	h a
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	h a

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・主に、集落の農事組合法人（ファーム別所）、集落外の認定農業者に集約している。
- ・農事組合法人構成員の高齢化と後継者不足。
- ・法面の草刈りが困難。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・条件の悪い圃場について、水稻以外の作付けの検討。
- ・草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。
- ・補助事業を活用した営農、農地の保全。農事組合法人の維持。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	94.3 %	将来の目標とする集積率	94.4 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)ファーム別所	水稻・麦・ソバ	38 ha	ha	水稻・麦・ソバ	38 ha	ha	青	
認農	本多 範行	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	赤	
利用者	五十嵐 敦子	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	水色	
利用者	横山 定守	水稻・野菜	1.8 ha	ha	水稻・野菜	1.8 ha	ha	橙	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		40.3 ha	0 ha		40.3 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (細野集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	39.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	38.7 ha
② 田の面積	39.7 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に、認定農業者および集落の引き受け手に集約している。 ・認定農業者や引き受け手の高齢化と後継者不足。 ・獣害への対策。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農、農地の保全。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稲以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	24.8 %	将来の目標とする集積率	24.9 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場が小さいため作業効率が悪い。補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	岩岡 久	水稻・麦・ソバ	6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	6 ha	ha	紫	
認農	山内 長利	水稻・麦・ソバ	3.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	3.6 ha	ha	黄	
利用者	川村 盛英	水稻、野菜	4.2 ha	ha	水稻、野菜	4.2 ha	ha	灰	
利用者	古家 継一	水稻、野菜	1.6 ha	ha	水稻、野菜	1.6 ha	ha	橙	
利用者	袖川 泰夫	水稻、野菜	2.4 ha	ha	水稻、野菜	2.4 ha	ha	青(赤線)	
利用者	中村 薫	水稻、野菜	1.3 ha	ha	水稻、野菜	1.3 ha	ha	カーキ	
利用者	中村 幸男	水稻、野菜	0.6 ha	ha	水稻、野菜	0.6 ha	ha	茶	
利用者	日谷 哉	水稻、野菜	0.4 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	青緑	
利用者	山内 忠義	水稻、野菜	0.4 ha	ha	水稻、野菜	0.4 ha	ha	緑	
			ha	ha		ha	ha		
計	9経営体		20.5 ha	0 ha		20.5 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (細野口集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	34.09 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	33.50 ha
② 田の面積	34.02 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.07 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・集落営農組織（細野口ファーム）および認定農業者が、集約を担っている。 ・細野口ファーム構成員および認定農業者の高齢化と後継者不足。 ・草刈りや水管理の困難。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・細野口ファームの維持。 ・補助事業を活用した営農、農地の保全。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稲以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	16.4 %	将来の目標とする集積率	16.5 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場が小さいため作業効率が悪い。補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				
猪対策、ネット・フェンス張り、電気柵、用水の掃除				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	久保 馨	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	赤	
利用者	久保 浩善	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水色	
利用者	下牧 一郎	水稻・麦・ソバ	0.7 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.7 ha	ha	灰	
利用者	下牧 清博	水稻・麦・ソバ	0.7 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.7 ha	ha	ベージュ	
利用者	下牧 久義	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.6 ha	ha	薄灰	
認農	岩岡 久	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	黄	
認農	本多 範行	水稻・麦・ソバ	5.4 ha	ha	水稻・麦・ソバ	5.4 ha	ha	緑	
利用者	細野ロファーム	水稻・麦・ソバ	18.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	18.6 ha	ha	青(赤線)	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		27.4 ha	0 ha		27.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (宮地集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	15.84 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	15.84 ha
② 田の面積	15.76 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.08 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・集落内に営農組織はなく、集落外の認定農業者や農事組合法人に委託している。
- ・集落内農業者および委託している認定農業者の高齢化と後継者不足。
- ・水稻以外に、ハウスを活用した園芸作物を行っている。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・ハウスを活用した園芸作物の継続。
- ・近隣の認定農業者や農事組合法人へ集約していくことになる。担い手と相談しながら依頼していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	65.6 %	将来の目標とする集積率	65.7 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、水管理や草刈りなど、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)松田ファーム	水稻・麦・ソバ	4.4 ha	ha	水稻・麦・ソバ	4.4 ha	ha	紫	
認農	岩岡 久	水稻・麦・ソバ・野菜	6 ha	ha	水稻・麦・ソバ・野菜	6 ha	ha	緑	
利用者	石川 健治	水稻・麦・ソバ	0.8 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.8 ha	ha	赤	
利用者	田中 俊司	水稻・野菜	1.1 ha	ha	水稻・野菜	1.1 ha	ha	青	
利用者	石塚 和高	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	ベージュ	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		8.1 ha	0 ha		8.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (堀名中清水集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	38.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	38.5 ha
② 田の面積	38.5 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・集約については、集落外の農事組合法人や集落内外の認定農業者が引き受けている。
- ・農業者の高齢化と後継者不足。 ・草刈りが困難。
- ・用排水路の経年劣化。 ・サル、イノシシ、クマなど獣害被害の多発。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・条件の悪い圃場について、水稻以外の作付けの検討。
- ・草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。
- ・補助事業を活用した営農、農地の保全。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	50.6 %	将来の目標とする集積率	50.7 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	石井 春雄	水稻・麦	3.9 ha	ha	水稻・麦	3.9 ha	ha	赤	
利用者	岩田 良孝	水稻	4.4 ha	ha	水稻	4.4 ha	ha	桃	
認農	(株)アグリプラント越前	水稻・麦・ソバ	6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	6 ha	ha	黒	
認就	島田 幸治	水稻・麦・ソバ	6.3 ha	ha	水稻・麦・ソバ	6.3 ha	ha	黄	
認農	中村 栄治	水稻・麦・ソバ	1.3 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.3 ha	ha	緑	
認就	島田 綾子	野菜	0.8 ha	ha	野菜	0.8 ha	ha	薄水色	
認農	山内 長利	水稻・麦・ソバ	0.3 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.3 ha	ha	黄緑	
認農	北郷ファーム(合)	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	青	
利用者	上野 正悦	水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	山吹	
			ha	ha		ha	ha		
計	9経営体		25.1 ha	0 ha		25.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (伊波集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	14.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14.2 ha
② 田の面積	14.3 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・後継者がいない。（参加者6名のうち、5名にいない。）
・集落の大きい田は集積済み。集落の中に小さい田が点在し、集積もできず集落の者で耕作している。耕作放棄地にならないよう努めているが次の世代ではどうなるのか。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・他地区法人、認定農業者への集約の依頼の検討。
・用水等について、近隣集落（北宮地、細野口）との協働を念頭に置く。
・生産政策と環境政策を分ける。農地を守ることを環境政策と捉えて、そこに資源を投入して欲しい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
水門等のインフラを整備して、耕作しやすいようにしていく。受益者負担の軽減を行政に要望する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	47.8 %	将来の目標とする集積率	47.9 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
大きい田については、集積済み。集落内の狭隘な田について、担い手が受けやすいよう整備。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、圃場の整備など、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでゆく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の实情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(農)松田ファーム	水稻・麦・蕎麦	1.4 ha	1.8 ha	水稻・麦・蕎麦	1.4 ha	1.8 ha	赤	
認農	(株)アグリラント越前	水稻・麦・蕎麦	0.6 ha	1.9 ha	水稻・麦・蕎麦	0.6 ha	1.9 ha	くすみ緑(赤線)	
認農	(株)スコイ勝山ファーム	水稻・麦・蕎麦	1.7 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	1.7 ha	ha	白(青線)	
認就	島田 幸治	水稻・麦・蕎麦	0.1 ha	1.2 ha	水稻・麦・蕎麦	0.1 ha	1.2 ha	薄緑	
認農	中村 栄治	水稻・麦・蕎麦	0.5 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	0.5 ha	ha	橙(赤線)	
認農	本多 範行	水稻・麦・蕎麦	1.1 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	1.1 ha	ha	黄	
到達者	石川 健治	水稻・麦・蕎麦	1.4 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	1.4 ha	ha	緑	
利用者	皿澤 利彦	水稻・麦・蕎麦	0.5 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	0.5 ha	ha	灰	
利用者	皿澤 吉朗	水稻・麦・蕎麦	1.4 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	1.4 ha	ha	黄土	
利用者	吉田 克哉	水稻・麦・蕎麦	0.5 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	0.5 ha	ha	紫(赤線)	
利用者	長谷川 健一	水稻・麦・蕎麦	0 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	0 ha	ha		
利用者	市岡 正則	水稻・麦・蕎麦	0 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	0 ha	ha		
計	12経営体		9.2 ha	4.9 ha		9.2 ha	4.9 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (妙金島集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	10.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	10.7 ha
② 田の面積	10.4 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・小さな田が多く受け手がない。地質も悪い。
- ・人・農地プランから比較して離農者が増えている。地区でリーダーとなる人がいない。
- ・水利の問題がある。堰がないから天候に応じた水の調整ができない。
- ・管理費、供託費などが制度化されるとよい。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

個人の農業者だけで、生産組織はない。所有農地は個人で管理・耕作していく。農地の改修や他地区との協働、供託費の制度化など、念頭に置く。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地区で話し合いを実施できるように声をかけていく。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	51.4 %	将来の目標とする集積率	51.5 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
担い手が受けやすい農地への整備。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地バンクを通じて集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、圃場の整備など、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでゆく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(株)アグリプラント越前	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	赤	
認農	中村 栄治	水稻・麦・ソバ	1.8 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.8 ha	ha	紫	
認農	長谷川 健一	水稻・麦・ソバ	1.8 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.8 ha	ha	青	
認就	島田 幸治	水稻・麦・ソバ	1.7 ha	ha	水稻・麦・ソバ	1.7 ha	ha	くすみ緑	
認就	吉田 克哉	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	白	
利用者	齊藤 輝夫	水稻	1.3 ha	ha	水稻	1.3 ha	ha	黄	
利用者	齋藤 治一	水稻	0.01 ha	ha	水稻	0.01 ha	ha	橙	
利用者	林 正次	水稻	0 ha	ha	水稻	0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		7.21 ha	0 ha		7.21 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	荒土地区 (新保集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	4.3 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	4.3 ha
② 田の面積	4.3 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・市街地のため小区画の農地が多く、商業施設への人の出入りもあり、作業効率が悪い。
- ・集約については、主に集落外の農事組合法人が担っている。
- ・農業者の高齢化と後継者不足。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・道の駅における、ハウスを活用したイチゴ栽培の継続。
- ・近隣の認定農業者や農事組合法人へ集約していくことになる。担い手と相談しながら依頼していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稲以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	27.9 %	将来の目標とする集積率	28.0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(株)多田農園	水稻・青刈	0.4 ha	ha	水稻・青刈	0.4 ha	ha	灰桃	
認農	(株)アグリプラント越前	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	緑	
利用者	西脇 勝登志	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	くすみ緑	
利用者	平泉 利栄	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	灰	
認農	木下 嘉隆	水稻・麦・ソバ	0.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.2 ha	ha	赤	
認農	酒井 勝	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		1.4 ha	0 ha		1.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	北郷地区 (西妙金島、檜曾谷、新町、志比原、森川、東野、伊知地、坂東島、上野 集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	190.11 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	187.29 ha
② 田の面積	190.03 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.08 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考) 区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・地区の農事組合法人（北郷上農事組合、北郷ファーム(合)）および地区外の認定農業者、新規就農者に集約している。
- ・農事組合法人の構成員および認定農業者の、高齢化と後継者不足。獣害。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・農事組合法人の維持。
- ・補助事業を活用した営農、農地の保全。
- ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	72.3 %	将来の目標とする集積率	72.4 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)			目標地図 上の表示	備考
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積		
認農	北郷上農事組合	水稻・麦・ソバ	23.1 ha	ha	水稻・麦・ソバ	23.1 ha	ha	青	
認農	北郷ファーム(合)	水稻・麦・ソバ	70.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	70.6 ha	ha	赤	
認農	田中 昭司	水稻・麦・ソバ・野菜	10.9 ha	ha	水稻・麦・ソバ・野菜	10.9 ha	ha	橙	
認農	松川 隆	水稻・ソバ・野菜	0.02 ha	ha	水稻・ソバ・野菜	0.02 ha	ha	ページュ	
認就	島田 幸治	水稻・麦・ソバ	10.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	10.6 ha	ha	黄	
認就	島田 綾子	野菜	6.6 ha	ha	野菜	6.6 ha	ha	薄茶	
認就	長谷川 健一	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha		
認農	山内 長利	水稻・麦・ソバ	4.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	4.6 ha	ha	山吹	
認農	出口 一郎	水稻・麦・ソバ	9 ha	ha	水稻・麦・ソバ	9 ha	ha	茶	
認農	(株)アグリランド越前	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha		
利用者	石井 春雄	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha		
利用者	上野 正悦	水稻・麦・ソバ	9.2 ha	ha	水稻・麦・ソバ	9.2 ha	ha	紺	
利用者	大谷 与栄	水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	水色	
利用者	大谷 健一	水稻	3.3 ha	ha	水稻	3.3 ha	ha	薄桃	
利用者	小林 謙一	水稻	1 ha	ha	水稻	1 ha	ha	桃	
利用者	近藤 栄一	水稻	1.7 ha	ha	水稻	1.7 ha	ha	黄緑	
利用者	齊藤 輝夫	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	薄灰(黒線)	
利用者	津田 賀寿生	水稻	1.7 ha	ha	水稻	1.7 ha	ha	緑	
利用者	中川 信廣	水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	深緑	
利用者	中川 廣美	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	肌色	
計	20経営体		155.3 ha	0 ha		155.3 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (保田集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	40.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	40.6 ha
② 田の面積	40.4 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者未定の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・ 水稻をしている農家は高齢化しており、後継者がいないところが多い。
- ・ 既に保田地区内の35%の農家が認定農業者に委託している状況にあるため、新たな生産組織を設立するのは困難である。
- ・ 維持管理は個人で行っているが、土手が広く、草刈りが大変である。また手伝いをする人がいない。金銭面などにおいて個人の負担が大きいと新たな方策が実施できない。
- ・ サル、イノシシなどの獣害が多い。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

近隣の認定農業者や農事組合法人へ農地を集約していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・ 担い手への集積・集約を進める。 ・ 草刈り、水管理等の維持管理について、新たな方策を検討する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	36.9 %	将来の目標とする集積率	37.0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地利用最適化推進委員および農家組合長等と調整して、農地バンクを通じて集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な経営体を募り、定着するよう取り組んでゆく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認就	牧野 晴信	水稻、麦、野菜	17 ha	ha	水稻、麦、野菜	17 ha	ha	赤	
利用者	吾田 健治	水稻、麦	0.5 ha	ha	水稻、麦	0.5 ha	ha	黒	
利用者	吾田 順一	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	薄桃	
利用者	吾田 照一	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	水色(青線)	
利用者	岩見 節子	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	紺	
利用者	久保 信雄	水稻、野菜	0.7 ha	ha	水稻、野菜	0.7 ha	ha	黒(赤線)	
利用者	小山 和男	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	薄青	
利用者	清水 祐二	水稻、野菜	1.9 ha	ha	水稻、野菜	1.9 ha	ha	紫	
利用者	牧野 英一	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	灰	
利用者	松名 浩	水稻、麦	3.1 ha	ha	水稻、麦	3.1 ha	ha	青	
利用者	安居 和平	水稻、麦、野菜	3.8 ha	ha	水稻、麦、野菜	3.8 ha	ha	黄	
利用者	安居 英治	水稻、麦	4.5 ha	ha	水稻、麦	4.5 ha	ha	橙	
利用者	安居 久繁	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	緑(赤線)	
利用者	山内 隆雄	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	濃橙	
利用者	山内 康弘	水稻、野菜	0.3 ha	ha	水稻、野菜	0.3 ha	ha	黄緑	
認農	島田 義治	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	薄桃(赤線)	
認農	(株)アグリプラント越前	水稻、麦	0.5 ha	ha	水稻、麦	0.5 ha	ha	青(赤線)	
認農	(農)本郷生産組合	水稻、麦	0.1 ha	ha	水稻、麦	0.1 ha	ha	カーキ(赤線)	
計	18経営体		35.9 ha	0 ha		35.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (保田出村集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	14.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14.1 ha
② 田の面積	14.0 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者未定の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・米価が低く儲からないので、農業をやりたいという人がおらず人手が不足している。 ・維持管理は個人で行っているが、土手が広く、草刈りが大変である。また手伝いをする人がいない。金銭面などにおいて個人の負担が大きいと新たな方策が実施できない。 ・サル、イノシシなどの獣害が多い。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

近隣の認定農業者や農事組合法人へ農地を集約していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・担い手への集積・集約を進める。 ・草刈り、水管理等の維持管理について、新たな方策を検討する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	75.1	%	将来の目標とする集積率
			75.2 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地バンクを通じて集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な経営体を募り、定着するよう取り組んでゆく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	島田 義治	水稻、麦	6.7 ha	ha	水稻、麦	6.7 ha	ha	水色	
認農	(株)アグリプラント越前	水稻、麦、ソバ	3.5 ha	ha	水稻、麦、ソバ	3.5 ha	ha	緑	
認農	(株)多田農園	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	紫	
利用者	吉田 新一	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	黄	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		10.8 ha	0 ha		10.8 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (本郷集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	31.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	31.5 ha
② 田の面積	31.6 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・（農）本郷生産組合、認定農業者が主な担い手である。 ・（農）本郷生産組合は存続の危機。後継者不足。 ・草刈りは、出来る人に声掛けをして実施。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・若手農業者を育成し、（農）本郷生産組合を持続してゆく。 ・条件の悪い圃場について、他の作付けを検討する。 ・草刈り等の作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の良くない圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	69.8 %	将来の目標とする集積率	69.9 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
畦畔や水路等の維持管理など、補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)本郷生産組合	水稻・麦・ソバ	20.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	20.6 ha	ha	赤	
認農	(農)北西俣ファーム	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	緑	
認農	(株)アグリプラント越前	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.9 ha	ha	橙	
認農	長谷川 健一	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	灰	
利用者	仲村 彰	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	茶	
利用者	仲村 正義	水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.8 ha	ha	青紫	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		23.4 ha	0 ha		23.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (西光寺集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	17.80 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	17.80 ha
② 田の面積	17.75 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.05 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・農業者の高齢化が著しく、維持困難が困難。集落単位ではなく、市全体で考えてほしい。 ・法面が大きく、草刈りが大変である。また、作業をする人がいない。 ・サル・イノシシなどによる獣害被害が多い。 ・他地区から水をポンプアップしているが水が足りていない。 ・米価が低く儲からないので、農機具を更新することができない。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・認定農業者への集約。継続した耕作の依頼。 ・他地区法人への集約の依頼の検討。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	72.5 %	将来の目標とする集積率	72.6 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
畦畔や水路等の維持管理など、補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	前川 幸康	水稻・野菜	7.7 ha	ha	水稻・野菜	7.7 ha	ha	青	
認農	(株)アグリプラント越前	水稻	3.6 ha	ha	水稻	3.6 ha	ha	赤	
認農	(農)北西俣ファーム	水稻	1.6 ha	ha	水稻	1.6 ha	ha	紫	
利用者	石田 喜松	野菜	0.02 ha	ha	野菜	0.02 ha	ha	緑	
利用者	栗原 方円	水稻・野菜	0.1 ha	ha	水稻・野菜	0.1 ha	ha	薄緑	
利用者	斎藤 勝彦	野菜	0.05 ha	ha	野菜	0.05 ha	ha	ベージュ	
利用者	中川 まつ子	野菜	0.1 ha	ha	野菜	0.1 ha	ha	灰	
利用者	前田 勇樹	野菜	0.03 ha	ha	野菜	0.03 ha	ha	山吹	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		13.2 ha	0 ha		13.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (北西俣集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	33.06 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	32.90 ha
② 田の面積	33.05 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.01 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・（農）北西俣ファームの作業員6、7名。地域の農業者12、13名。
- ・農業ができなくなったら（農）北西俣ファームに依頼してくる流れ。
- ・農地を預ける人も（農）北西俣ファームの構成員となる。
- ・草刈りは所有者、水管理は（農）北西俣ファームで行っている。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・（農）北西俣ファームの維持。若手農業者の育成。
- ・条件の悪い圃場の水稻以外の作付けの検討。
- ・補助事業を活用した営農。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	64.6 %	将来の目標とする集積率	64.7 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場の整備や水路の維持管理等、補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(農)北西保ファーム	水稻・麦・ソバ	16.6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	16.6 ha	ha	赤	
利用者	石田 シズヨ	水稻	0 ha	ha	水稻	0 ha	ha	黄緑	
利用者	木下 行雄	水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	茶	
利用者	光真坊 豊	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	紫	
利用者	小林 一博	水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	灰	
利用者	小林 大祐	水稻	1.5 ha	ha	水稻	1.5 ha	ha	緑	
利用者	島田 弘	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	ベージュ	
利用者	辻 忠雄	水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.8 ha	ha	エメラルドグリーン	
利用者	中田 憲隆	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	薄灰	
利用者	森下 朝康	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	橙	
計	10経営体		23.2 ha	0 ha		23.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (矢戸口集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載し

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	30.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	30.5 ha
② 田の面積	30.2 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・認定農業者および集落内農業者の高齢化と後継者不足。 ・鳥獣害への対策。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・山際などの維持困難農地について、水稻以外の作付けや林地化など、より良いあり方の検討。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。 ・補助事業を活用した営農。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	64.6 %	将来の目標とする集積率	64.7 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場が小さい(1,000㎡未満)ため作業効率が悪い。補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備し、自己保全管理農地への作付けを進める。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作物等	経営面積	作業受託面積	経営作物等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(株)アグリブランド越前	水稻・麦・ソバ	3.3 ha	ha	水稻・麦・ソバ	3.3 ha	ha	黄	
認農	(農)本郷生産組合	水稻・麦・ソバ	0.7 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.7 ha	ha	黄緑	
認農	田部 健二	水稻・麦・野菜	8.8 ha	ha	水稻・麦・野菜	8.8 ha	ha	赤	
認農	長谷川 健一	水稻・麦・ソバ	6.9 ha	ha	水稻・麦・ソバ	6.9 ha	ha	青	
利用者	森下 秀光	水稻	0.1 ha	ha	水稻	0.1 ha	ha	薄緑	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		19.8 ha	0 ha		19.8 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (西遅羽口集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	14.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14.2 ha
② 田の面積	14.2 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・農業者の高齢化と後継者不足。 ・鳥獣害への対策。 ・稲作に必要なだけの用水が不足するため、他地区から農業者が参入しても継続できず撤退してしまう。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・若手農業者の育成と支援。 ・山際等の維持困難地について、水稻以外の作付けや林地化など、より良いあり方の検討。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。 ・補助事業を活用した営農。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	12.7 %	将来の目標とする集積率	12.8 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場が小さい(1,000㎡未満)ため作業効率が悪い。補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備し、自己保全管理農地への作付けを進める。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認就	黒瀬 公雅	野菜	0.6 ha	ha	野菜	0.6 ha	ha	紫	
認農	長谷川 健一	水稻・麦・ソバ	0.8 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.8 ha	ha	ページュ	
認農	(株)アグリプラント越前	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	桃	
利用者	中廣 祥典	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	4経営体		2 ha	0 ha		2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (東遅羽口集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	11.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	11.2 ha
② 田の面積	11.2 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・他集落の認定農業者に出作してもらっている圃場がほとんどである。 ・担い手の高齢化と後継者不足。 ・鳥獣害への対策。 ・田んぼに水があたらない。 ・隣接山地の竹木の伐採等農地周辺環境の整備
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・山際等の維持困難農地について、水稻以外の作付や林地化など、より良いあり方の検討。 ・集落単体ではなく、集落を超えた営農組織のあり方の検討。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。 ・補助事業を活用した営農。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	59.8	%	将来の目標とする集積率
			59.9 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場が小さい(1,000㎡未満)ため作業効率が悪い。補助事業を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備し、自己保全管理農地への作付けを進める。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				
担い手を中心に集約は行うが、鳥獣害対策や用排水路、能動、山際の保全等は地域住民で分担して共同管理し、スマート農業ができる圃場づくりを行う。				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	(株)アグリフロント越前	水稻・麦・ソバ	6.7 ha	ha	水稻・麦・ソバ	6.7 ha	ha	赤	
利用者	中廣 祥典	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	黄土	
利用者	宇佐美 辰美	水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.8 ha	ha	水色	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	3経営体		7.9 ha	0 ha		7.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (杉俣集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	14.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14.1 ha
② 田の面積	14.1 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・担い手はいるが、十分ではない。
- ・農業者の高齢化により、維持管理が困難。
- ・サル・イノシシ・シカなどの獣害が多い。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・主な担い手への集約、継続した耕作の依頼を行う。
- ・集落単位ではなく地区単位のまとまった農業法人を作り、現在負担が大きい担い手に対するリスクヘッジ、機械の維持等ができる体制を検討する。
- ・補助事業の活用と要望について検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
草刈り、水管理等の維持管理について、新たな方策を検討する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	37.1 %	将来の目標とする集積率	37.2 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に農家組合長等と調整し、農地バンクを通じて集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでゆく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	株アグリプラント越前	水稲、ソバ、野菜	5.2 ha	ha	水稲、ソバ、野菜	5.2 ha	ha	橙	
利用者	山内 智彦	水稲、ソバ、野菜	1.1 ha	ha	水稲、ソバ、野菜	1.1 ha	ha	青	
利用者	中廣 祥典	水稲	3 ha	ha	水稲	3 ha	ha	黄緑	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	3経営体		9.3 ha	0 ha		9.3 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (発坂集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	8.5 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	7.7 ha
② 田の面積	8.5 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・ 農業者の高齢化により、維持管理が困難である。担い手はいるが、十分でない。 ・ 約70%の世帯は作業委託をしており、残りの30%は自己完結型で作業を行っている。 ・ 農機具の購入費用が高く、作業をしたくても機械を買えないため作業できない。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・ 認定農業者への集約。継続した耕作の依頼を行う。 ・ 共用で利用できる農機具を持ち、機械を所有していなくても作業できるようにする。 ・ 補助事業の活用と要望について検討する。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
草刈りの負担が軽減されるよう、補助事業を検討する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	77.9 %	将来の目標とする集積率	78.0 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記リスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地バンクを通じて集積・集約を進めつつ、機械を所有していなくても誰でも作業ができるよう、取り組んでいく。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでゆく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	嶋田 勝則	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	水色	
利用者	嶋田 志づ	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	橙	
利用者	嶋田 富士子	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha	赤	
利用者	三枝 央幸	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	紫	
認農	アグリプラント越前	水稻、麦、ソバ	6 ha	ha	水稻、麦、ソバ	6 ha	ha	桃	
利用者	吉田 新一 (志田愛農会)	水稻、麦	0.9 ha	ha	水稻、麦	0.9 ha	ha	黄	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		8 ha	0 ha		8 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	鹿谷地区 (志田集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してくだ

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	20.5 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	19.0 h a
② 田の面積	20.3 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.2 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	h a
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	h a

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・ほとんどの農地を、営農組織（志田愛農会）や認定農業者等が引き受けている。 ・担い手の高齢化と後継者不足。 ・条件の悪い圃場の維持管理。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・若手農業者の育成と支援。 ・草刈り等の作業応援のしくみ作り。 ・補助事業を活用した営農。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けや林地化など、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	3.1 %	将来の目標とする集積率	3.2 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約、団地面積の拡大を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約する。その際、農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場の再整備と水路等の維持管理が今後の課題。担い手が営農しやすい生産環境を整備し、自己保全管理農地への作付けを進める。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(株)アグリラント越前	水稲・麦・ソバ	0.1 ha	ha	水稲・麦・ソバ	0.1 ha	ha	青	
利用者	石田 敏幸	水稲・野菜	0.6 ha	ha	水稲・野菜	0.6 ha	ha	橙	
利用者	石田 巳春	水稲・野菜	0.6 ha	ha	水稲・野菜	0.6 ha	ha	黄緑	
利用者	川端 明宣	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	紫	
利用者	安居 英治	水稲・野菜	0.3 ha	ha	水稲・野菜	0.3 ha	ha	黒	
利用者	吉田 久夫 (志田愛農会)	水稲・麦・ソバ	16 ha	ha	水稲・麦・ソバ	16 ha	ha	赤	
利用者	志Farm	野菜	0.6 ha	ha	野菜	0.6 ha	ha	黄	
到達	(株)吉田煌農園	野菜	0.5 ha	ha	野菜	0.5 ha	ha	緑	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		18.8 ha	0 ha		18.8 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	遅羽地区 (下荒井集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	8.59 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	8.59 ha
② 田の面積	8.54 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.05 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に、集落内外の認定農業者に集約している。 ・認定農業者および農業者の、高齢化と後継者不足。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農、農地の保全。 ・営農困難農地について、水稻以外の作付けを検討する。 ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	69.8 %	将来の目標とする集積率	69.9 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	鳥山 義昭	水稻・野菜	6 ha	ha	水稻・野菜	6 ha	ha	桃	
利用者	斎藤 修	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	紫	
利用者	斎藤 耕一	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	緑	
利用者	斎藤 浩一	水稻、ソバ	1.2 ha	ha	水稻、ソバ	1.2 ha	ha	黄	
利用者	田中 薫	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	黄緑	
認農	㈱かつやまアグリ倶楽部	水稻	0 ha	ha	水稻	0 ha	ha		
認農	長谷川 晶俊	水稻	0 ha	ha	水稻	0 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	7経営体		8.2 ha	0 ha		8.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	遅羽地区 (嶗崎集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	28.98 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	28.66 ha
② 田の面積	28.93 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.05 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に、集落外の農事組合法人および認定農業者に集約している。 ・農事組合法人の構成員および認定農業者の高齢化と後継者不足。 ・山際などの圃場の、維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農、農地の保全。 ・営農困難農地について、水稻以外の作付けを検討する。 ・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	52.3 %	将来の目標とする集積率	52.4 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者	新門 潔	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	桃	
利用者	新門 義雄	水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.8 ha	ha	水色	
利用者	石原 武	水稻	0.6 ha	ha	水稻	0.6 ha	ha	紫	
利用者	伊藤 政二	水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	薄桃	
利用者	伊藤 美智子	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	灰	
利用者	斎藤 孝幸	水稻	2 ha	0.62 ha	水稻	2 ha	0.62 ha	橙	
利用者	斎藤 宏幸	水稻	1.9 ha	ha	水稻	1.9 ha	ha	茶	
利用者	澤田 昌紀	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	濃紫	
利用者	澤田 裕治	水稻	1.3 ha	ha	水稻	1.3 ha	ha	水色(青線)	
利用者	仲長 豊治	水稻	0.8 ha	0.31 ha	水稻	0.8 ha	0.31 ha	青(青線)	
認農	大西 光榮	水稻・麦・ソバ	6 ha	ha	水稻・麦・ソバ	6 ha	ha	黒	
認農	酒井 清泰	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.1 ha	ha	エメラルドグリーン	
認農	㈱かつやまアグリ倶楽部	水稻・麦・ソバ	8.5 ha	ha	水稻・麦・ソバ	8.5 ha	ha	黄緑	
認農	(農)みむろファーム	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0.4 ha	ha	濃桃	
認農	長谷川 晶俊	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha	水稻・麦・ソバ	0 ha	ha		
計	15経営体		25.2 ha	0.93 ha		25.2 ha	0.93 ha		

注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2：「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4：作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5：備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	遅羽地区 (大袋・新道集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	43.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	43.1 ha
② 田の面積	43.4 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に、集落の農事組合法人（みむろファーム）、集落外の農事組合法人、および集落内外の認定農業者に集約している。
・農事組合法人の構成員および認定農業者の高齢化と後継者不足。
・林地周辺や急傾斜地にある農地の、維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農、農地の保全。農事組合法人の維持。
・営農困難農地について、水稻以外の作付けを検討する。
・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	81.7 %	将来の目標とする集積率	81.8 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(農)みむろファーム	水稲、麦、ソバ	26.7 ha	ha	水稲、麦、ソバ	26.7 ha	ha	赤	
認農	㈱かつやまアグリ倶楽部	水稲、麦、ソバ	1.8 ha	ha	水稲、麦、ソバ	1.8 ha	ha	黄	
認農	酒井 清泰	水稲、麦、ソバ	4.1 ha	ha	水稲、麦、ソバ	4.1 ha	ha	肌色	
認就	斎藤 利明	水稲、麦、ソバ	0.8 ha	ha	水稲、麦、ソバ	0.8 ha	ha	黄緑	
認農	大西 光榮	水稲、麦、ソバ	1.4 ha	ha	水稲、麦、ソバ	1.4 ha	ha	青	
認農	長谷川 晶俊	水稲、麦、ソバ	0.4 ha	ha	水稲、麦、ソバ	0.4 ha	ha	桃	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		35.2 ha	0 ha		35.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	遅羽地区 (北山集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	9.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	9.3 ha
② 田の面積	9.5 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・後継者のいる農家が少ない。 ・組織化していないので個人による耕作である。 ・排水がうまくいかず、蕎麦に不向き。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業あってこそ草刈り等の保安全管理ができています。今後も補助事業を活用して、草刈り等の農地の管理は、集落で行っていく。 ・谷あいの農地について、より良い管理のあり方や、活用の検討。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・担い手への集積・集約を進める。 ・谷あいの農地について、新たな方策を検討する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	33.3 %	将来の目標とする集積率	33.4 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、獣害対策や圃場の整備など、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	大西 光栄	水稻・麦・蕎麦	3.1 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	3.1 ha	ha	青	
利用者	斎藤 和子	水稻	1.7 ha	ha	水稻	1.7 ha	ha	紺	
利用者	斎藤 敬三	水稻	1.2 ha	ha	水稻	1.2 ha	ha	赤	
利用者	斎藤 佐智雄	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	緑	
利用者	斎藤 敏幸	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	橙	
利用者	長谷川 伊智朗	水稻	1.8 ha	ha	水稻	1.8 ha	ha	水色	
利用者	長谷川 明雄	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	黄緑	
利用者	斎藤 甚三郎	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	黄	
利用者	斎藤 幸寛	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	桃	
利用者	長谷川 美幸	水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	カーキ	
計	10経営体		9.2 ha	0 ha		9.2 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	遅羽地区 (蓬生集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	20.40 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	20.30 ha
② 田の面積	20.40 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.00 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・主に、集落内外の認定農業者に集約している。
・認定農業者および農業者の、高齢化と後継者不足。
・山際の圃場の、維持管理。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・補助事業を活用した営農、農地の保全。
・営農困難農地について、水稻以外の作付けを検討する。
・草刈り等の、作業応援のしくみを作っていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手に支障のない範囲で中間管理機構を通じた貸借を進める。また、条件の悪い圃場の水稻以外の作付けなど、耕作放棄地発生防止に努める。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	66.5 %	将来の目標とする集積率	66.6 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地中間管理機構を活用して、集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農家組合長等と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
勝山市及びJAと連携し、地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認就	斎藤 利明	水稻、麦、ソバ	12.9 ha	ha	水稻、麦、ソバ	12.9 ha	ha	青緑	
利用者	桑原 良明	水稻	1.5 ha	ha	水稻	1.5 ha	ha	桃	
利用者	齋藤 作榮	水稻、ソバ	0.8 ha	ha	水稻、ソバ	0.8 ha	ha	深緑	
利用者	齋藤 茂則	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha	濃紫	
利用者	田中 豊	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	カーキ	
利用者	藤崎 秀治	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	薄桃	
認農	㈱かつやまアグリ倶楽部	水稻、麦、ソバ	0.6 ha	ha	水稻、麦、ソバ	0.6 ha	ha	黄緑	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	7経営体		17.9 ha	0 ha		17.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和 年 月 日 (第 回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	勝山市 206
地域名 (地域内農業集落名)	遅羽地区 (比島集落)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	16.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	16.2 ha
② 田の面積	16.2 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
（参考）区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・集落の平地の田のほとんどを(株)アグリプラント越前に預けているが、草刈り等の農地の管理は集落で行っている。
- ・谷あいが2箇所あり、個人で耕作しているが、獣害(熊, 猪, 猿)や夏場の水枯れなどがある。
- ・高齢化と後継者不足。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

- ・補助事業あってこそ草刈り等の保安全管理ができています。今後も補助事業を活用して、草刈り等の農地の管理は、集落で行っていく。
- ・谷あいの農地について、より良い管理のあり方や、活用の検討。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・担い手への集積・集約を進める。 ・谷あいの農地について、新たな方策を検討する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	51.8 %	将来の目標とする集積率	51.9 %
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
下記のリスト中の担い手、経営体に集約化			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
担い手を中心に、農地バンクを通じて集積・集約を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地バンクを活用して、担い手の意向を踏まえながら、集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
補助事業等を活用し、獣害対策や圃場の整備など、担い手が営農しやすい生産環境を整備する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から経営体を募り、定着するよう取り組んでゆく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨その他	
【選択した上記の取組内容】				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農	(株)アグリプラント越前	水稻・麦・蕎麦	8.4 ha	ha	水稻・麦・蕎麦	8.4 ha	ha	赤	
利用者	松村 富夫	水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	茶	
利用者	松山 藤和	水稻	1.1 ha	ha	水稻	1.1 ha	ha	ページユ	
利用者	松村 正美	水稻	0.8 ha	ha	水稻	0.8 ha	ha	灰	
利用者	松山 善照	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	濃い橙	
利用者	太田 司	水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	橙	
利用者	伊藤 成子	水稻	0.7 ha	ha	水稻	0.7 ha	ha	灰青	
利用者	松山 隆重	水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	くすみ緑	
			ha	ha		ha	ha		
計	8経営体		12.9 ha	0 ha		12.9 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）	-	うち計画同意者数（人・％）	-
-------------	---	---------------	---

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

